

# 永福図書館 実習報告



松ノ木中学校2学年・3名のレポートです。  
6月28日(水)～6月30日(金)の3日間、図書館の仕事を体験しました。

実習で  
取り組んだ  
仕事

- 排架
- 雑誌の装備
- 交換便(他の館から届いた本)の仕分けと中身チェック
- 予約確保作業(予約がついた資料を書架から持ってくる)
- オススメ本の紹介文
- 書架整理
- おはなし会の読み聞かせ
- たなばたの飾り作成

私は今回の職場体験で学んだことが2つあります。1つめは「図書館の裏側の仕事」です。交換便の仕分けや中身をすみずみまでチェックする、このことを実際にやってみると見えない所でも仕事をし、快適に過ごせるようにして下さるスタッフの方々のすごさが分かりました。2つめは「利用者が心地よいと思える環境をつくる」です。図書館では利用者が本を読みやすい、借りやすいだけでなく、楽しんでもらえるような工夫をしていました。例えば、子どもが楽しめるような読み聞かせや七夕の飾りつけ、中高生向けに本をホームページで紹介するなど、年齢層に合わせてたくさんの人が楽しいと思えるような環境をつくっていました。このことから私は、働く人がいるからこの過ごしやすい社会があるんだと感じました。私が将来、働く時は今回のことを思い出し、学んだことを活かそうと考えました！

職場体験3日間を終えて、私はたくさんの事を学ぶ事ができました。最初は緊張もしていましたが、たくさんのスタッフの方々が優しく丁寧に仕事を教えてくださり、安心して仕事ことができました。また、実際に仕事をやってみて、排架や予約確保のお仕事は図書館のお仕事って感じがして楽しかったし、本の中身チェックをしていたときはレシートがはさまっていたりすると自分も気をつけようと思いました。普段、私たちは何気なく利用している図書館ですが、働いているスタッフの方々はお客様のことを考えて仕事をしてくださっていて、働くことは私たちが考えているよりも奥深いものだと思いました。

最初、図書館に職場体験で来たとき、私はどの分類の本がどの場所にあるのかよく分かりませんでした。排架をするうちに分かるようになっていきました。おはなし会では人数こそ少なかったですが、上手くしゃべることができて安心しました(『ねないこだれだ』があそこまで怖がられるとは思いませんでした)。私は職場体験自体は2回目ですが、中学生になると、できることも責任も増えたように感じました。しかし、それらをひっくるめて職場体験は楽しかったと感じています。図書館の仕事はなかなか体験することができないので、とても貴重な体験です。この経験を活かして図書委員の仕事に取り組んでいきたいと思えます。

図書館で働いてみた感想